

タイ留学生との交流

From October the 23 until the 29, Fukuoka Kaisei accepted 20 exchange students from Sacred Heart Convent School located in Bangkok, Thailand. At Kaisei, we have a wide global network, and we were excited to welcome the Thailand students for the first time to our school. The exchange students were placed in different classes during their stay at Kaisei, where they could experience Kaisei, while at the same time, they participated in special cultural lessons like flower arranging and abacus class! During this time together, we were able to make lifelong friendships. There were many tears from students and teachers on the last day! We are also very grateful for the host families from Kaisei who accepted the 20 students. This exchange was also featured in the NISHI NIPPON NEWSPAPER on October the 25th! We look forward to the next visit!

10月23日から29日までの期間、福岡海星はタイのバンコクにある聖心修道院学校からの交換留学生20名を迎えました。海星は幅広い国際ネットワークを有しており、初めてタイの生徒たちを学校に迎え入れることができました。留学生たちは滞在中、全てのクラスに配置され、日本の授業を体験すると同時に、華道やそろばんなどの特別な文化レッスンにも参加しました。この貴重な経験を通して、生涯の友情が築かれました。最終日には多くの生徒や教師が涙しました。また、今回留学生を受け入れてくれたホストファミリーに心から感謝いたします。この交換留学の様子は10月25日の『西日本新聞』にも取り上げられました。次回の訪問を心待ちにしています！



Kaisei Times

FUKUOKA KAISEI GIRLS
HIGHSCHOOL
2023.11

11月のご挨拶

副校長 竹下 徹

生活を相対的に考えられる機会になることを期待しています。

さて、今日は1人の人物を紹介したいと思います。その人は菅谷昭(すげのやあきら)前長野県松本市長です。今から37年前、旧ソビエト連邦ウクライナでチェルノブイリ原子力発電所の爆発事故が起こりました。その放射性物質が風下に位置している豊かな自然に囲まれたベラルーシに流れた結果、大量の甲状腺ガンが発生し、悲惨なことに、成長過程にある子どもにその被害が最も多く出ました。それを知った甲状腺ガンの世界的権威であった菅谷氏は、信州大学医学部・助教授の地位を投げ捨て、ベラルーシで、5年半にわたり無報酬で医療活動に当たりました。それは53歳での決断でした。彼は40歳を過ぎた頃から人生について思いを巡らすようになり、ある時次のことに気づいたと言います。「もし自分が今、突然死んだとしても『満足した人生だった』とは決して言うことはできない。きっと悔やんでも悔やみきれないだろう。では自分が満足できる人生とはいったい何なのだろうか。自分が求めている悔いのない生き方とは、地位でもお金でも名誉でもない。1度しかない人生をどう生きたかが1番大切だ」。

菅谷氏が示した生き方に見られるように、人を支えようとする人が1人でも多くなる社会になって欲しいと思います。自分のできる範囲内で、地道に真面目に生きて、そして人を支えることができれば、それがどんなに小さなことだとしても、それこそすばらしい生き方ではないでしょうか。



秋も一段と深まり、寒さが身にしみる季節となりました。1年中テーブルとして使っている我が家のコタツに先日コタツ布団をかけました。もうコタツを使う季節になったかと思うと、時の経つのが本当に早いと感じます。

10月23日(月)から29日(日)までタイのバンコクにあるプラハルタイコンベント高校から20名の生徒と2名の引率の先生方が来校されました。歓迎式典において、本校は吹奏楽部の演奏、そしてバトン部の演技を披露しました。プラハルタイコンベント高校は、タイの楽器である「キム」を使用しての日本の曲演奏と、タイの4つの地域を代表する衣装を身にまとった生徒たちが、それぞれ違ったスタイルの踊りを披露してくれました。この日の交流についての記事が10月25日の西日本新聞の朝刊に掲載されました。彼らの滞在中の1週間ご家庭に生徒たちを受け入れていただいたホストファミリーの皆様方には、改めて心から感謝申し上げます。タイの生徒たちからは、「ホストファミリーの皆さんがとても優しいです。」や「毎日作ってもらうご飯やお弁当がとっても美味しいです。」など、日本滞在をとても楽しんでいる様子が伺えました。福岡空港でホストファミリーと別れる時に涙していた生徒たちを目にした時、この交流が大変意義深いものであったと強く感じました。

11月17日(金)から28日(火)までの12日間の日程で、本校生徒10名と近隣の中学生15名が本校の姉妹校であるニュージーランドのハミルトンガールズハイスクールにて短期研修を行います。プラハルタイコンベント高校の生徒が日本の文化に触れたように、自分が未だ出会ったことがない新しい文化や価値観と出会い、自分の国の文化や

ベトナム留学生との交流

11月1日(水)・2日(木)の2日間、福岡県私学協会のアジア派遣事業の一環で、ベトナムより2名の留学生を海星にお迎えしました。

そろばんや茶道といった日本ならではの授業や、ドラマやグローバルスタディのような海星独自の授業にも参加しました。

短い時間でしたが、今回も国境を越えた交流の機会に恵まれたことを嬉しく思います。今後も国際交流を通して、ネットワークを広げていきたいですね。



マナー講座を受講しました!

10月17日(火)2年ABC組、11月28日1年BCD組は、中村調理製菓専門学校でマナー講座を受講しました。食事のマナー、箸・ナフキンの使い方など、普段の生活では学べない貴重な体験をすることができました。



▲10月17日



▲11月28日

1月11日(木)には1Aクラス・3Bクラスがマナー講座を受講します!



留学生を受け入れて

私はベトナムの生徒を受け入れ、約1週間一緒に過ごしました。お金の計算や食事マナー、交通の便など、文化の違いで彼女達は戸惑うことや大変なことも多々ありました。しかし、先生方や家族、友達に協力していただきながら、全ての行程を無事終えることができました。みなさん、私たちが快適に過ごせるよう協力してくださり、本当にありがとうございました。派遣事業に参加して沢山のことを学び、経験したことを今後の活動などに活かして、世界の人ともっと繋がりたいと思いました。言葉も文化も環境も違うにも関わらず、国境を超えて私達は出会い、絆が深まったことに感謝いたします。

2C馬渡 彩光

祝

卓球部 優勝!!



10月1日(日)に柳川市民体育館で行われた「第45回とびうめ国体開催記念 第34回柳川市卓球競技大会」に出場し、一般女子団体の部において優勝、また一般女子個人の部では、2位入賞、3位入賞、そして2名がベスト8という結果を残すことができました。

また、10月29日(日)福岡市民体育館で行われた「令和5年度福岡県高等学校卓球新人大会中部ブロック予選会 女子学校対抗の部」では、ベスト4に入ることができました。

祝

入選しました!!



第34回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞

佳作 3年B組 堂脇実玖

「真夜中の眠れぬときにオルゴール」

佳作 3年C組 野中優凧

「この冬にあたたかくなれ人の心」